

# 日本気象学会

## 昭和51年秋季大会・東京管区気象研究会

会期：昭和51年10月21日（木），22日（金），23日（土）

会場：愛知県産業貿易館（名古屋市中区丸の内3丁目1番6号）

### 目次

大会行事予定表	519
会場と宿舎案内図	520
研究発表内容一覧表	521
シンポジウム内容	521
研究発表題目	522

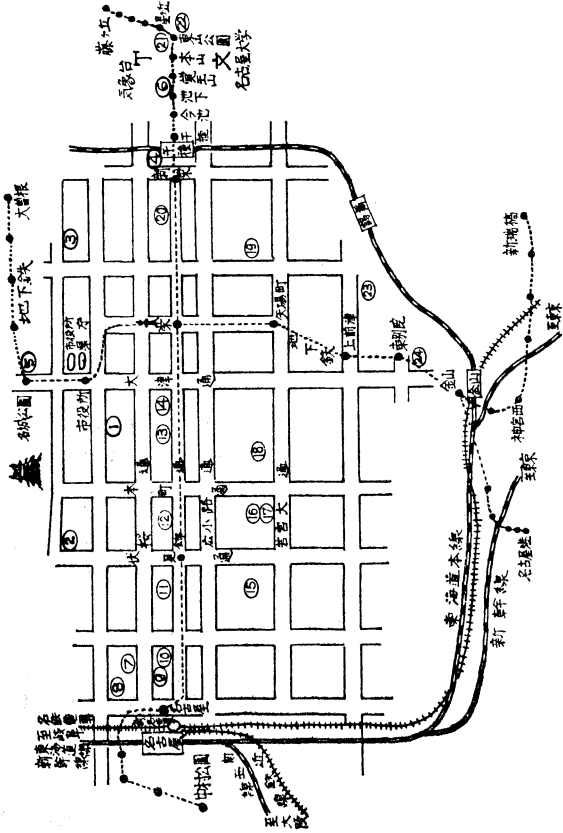
### 大会行事予定表

1. 会場：愛知県産業貿易館（TEL 052-231-6351）  
第1会場（本館4F第1会議室），第2会場（西館4F階段教室），  
第3会場（西館3F第12会議室），大会議場（西館10F）
2. 会期：10月21日（木），22日（金），23日（土）
3. 行事

大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	10月21日（木）09：00～12：30
〃	〃 13：00～17：30
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	10月22日（金）09：00～12：30
関西支部年会（大会議場）	13：00～14：00
理事長あいさつ，日本気象学会奨励金贈呈式，シンポジウム （大会議場）	14：00～17：00
懇親会	17：30～
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	10月23日（土）09：00～12：30
	13：00～17：00

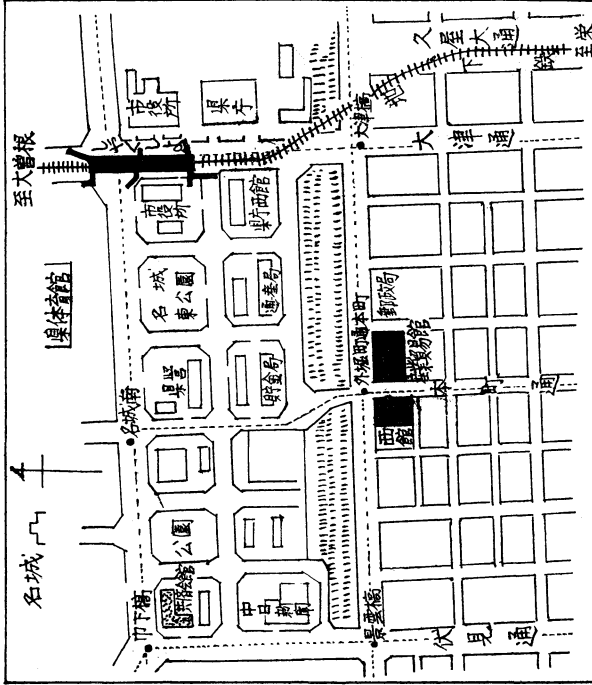
大会委員長 柳原一夫

昭和51年度秋季大会会場・宿舎一覧表および案内図



番号	個所名	所在地	TEL	個所名	所在地	TEL
1	三菱産業取引所	中区北の丸3丁目1-6	231-6351	中区第3丁目	18	952-2111
2	名古屋経済会館	中区三の丸1-5-1	201-3326	中区第3丁目	8-21	951-6311
3	ちかま会館	東区主税町4-26-1	932-3211	中区栄1丁目	22-2	211-6511
4	愛知会館	東区赤森町2-51	936-5171	中区栄2丁目	6-21	231-7211
5	名城会館	北区城北新町1-6	981-5521	中区栄3丁目	12-31	231-6396
6	玉山会館	千種区堂島山通8-18	762-3151	中区栄3丁目	23-33	261-4401
7	日産会館	中村区広井町2-59	561-3491	中区南神宮町	3-2	241-9401
8	はせ川本館	中村区広井町3-70	565-630	東区砂神堂町	2-27	935-3421
9	はせ川新館	中村区堀内町4-40	561-4481	千種区新池町	3-44	781-2293
10	ホテルイトウ	中村区流井町1-96	541-4431	千種区豊山通	5-39	781-0345
11	日産会館	中区第1丁目8-40	211-4381	中区上蒲津2丁目	4-21	331-8686
12	日産会館	中区第2丁目10-28	231-2800	中区平和町	3-1	321-5663

大会会場付近案内図



●大会会場への交通  
 [地下鉄] (名古屋) で星ヶ丘行または藤ヶ丘行に乗り、2つの目の駅(栄)で乗替え、大曾根行に乗り1つ目の駅(市役所)下車。  
 [市バス] 17番(名駅)→(大曾根), 18番(名駅)→(幸心), 40番(名駅西口)→(上飯田町), 143番(名駅)→(大森霞ヶ丘), 11番(栄)→(豊公橋), 8番(栄)→(庄内公園)に乗り、(外堀町通本町)で下車。

## 昭和 51 年 秋 季 大 会

( ): 講演番号, — — : 座長

		第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場
10月 21日 (木)	09.00~12.30	境界層 (101~113) —鳥貫 陸—	降水・大雨・雪 (201~214) —武田喬男—	気 候 (301~311) —須田滝雄—
	13.30~17.30	境界層 (114~129) —蒲生 稔—	総観気象 (215~230) —鈴木秀夫—	エーロゾル (312~324) —池辺幸正—
10月 22日 (金)	09.00~12.30	境界層 (130~134) AMTEX (135~141) —近藤純正—	レーダ (231~243) —立平良三—	放 射 (325~333) —浅野正二—
	13.30~14.30	(中 部 支 部 年 会 (大会議場))		
	14.30~17.00	理事長あいさつ, 学会奨励金贈呈式, シンポジウム (大会議場)		
10月 23日 (土)	09.00~12.30	災害・その他 (142~148) —奥田 稜— 大気汚染 (149~155) —河村 武—	大循環・力学 (244~260) —時岡達志—	雲 物 理 (334~343) —前野紀— 大気電気 (344~348) —石川晴治—
	13.30~17.00	大気汚染 (156~168) —内藤恵吉—	熱帯気象・積雲 (261~268) —松野太郎—	測器・データ処理 (349~357) —青柳二郎—

## シンポジウム「地形と豪雨」について

1. 日時 大会第2日(22日)(金)14時30分~17時
2. 会場 第1会場
3. 座長 樋口敬二
4. 話題提供者

二宮光三: 大きなスケールでみた地形と大雨

小花隆司: 東海地方における強雨の地域特性

武田喬男: 地形と微物理的降水機構

## 研究発表題目

## 大会第1日(10月21日)9時~12時30分

## 第1会場 境界層 座長 島 貫 陸

101. 東原紘道(長大橋設計センター): 構造物による微気象の変化と冷害
102. 田中 浩(電波研): 境界層不安定の力学的役割
103. 吉門 洋(公資研): 境界層における慣性効果について(I)
104. 竹内衛夫(気象研・予報): 傾圧・非断熱境界層に於ける地表面乱流輸送のパラメタリゼーション
105. 安田延寿(東北大・理): エクマン層の風速分布の相似則
106. 山田信夫(日大・習志野): 不安定エクマン層の熱構造について一熱成層パラメータに関する考察
107. 近藤純正・笹野泰弘(東北大・理): 大気・海洋結合境界層モデル(I)一海洋混合層のモデル化一
108. 塩谷正雄・岩谷祥美(日大生産工)・西野新造(本四公団): 坂出市番の洲観測所における強風の測定
109. 内藤玄一(防災センター): 風速変動の三次元空間のコヒーレンス
110. 石井徳治(新東京航空地台): 風の乱れの子報的解析
111. 竹田 厚(東大・海洋研): 風から波への運動量輸送の変動成分
112. 横山長之・蒲生 稔・山本 晋(公資研): 混合層中における乱流変動量について
113. 米谷俊彦・瀬尾琢郎(岡山大・農生研): 植物群落上の乱流特性について(IV)

## 第2会場 降水・大雨・雪 座長 武田 喬 男

201. 藤原美幸・市村市太郎・柳瀬利子(気研・台風): 宮古島附近に発生していた積雲の雲粒分布について(II)
202. 播磨屋敏生・穂積邦彦・孫野長治(北大・理): 積雲対流活動度と気象要素との関係
203. 穂積邦彦・播磨屋敏生・孫野長治(北大・理): 積雲の粒径分布
204. 足立俊三・孫野長治(北大・理): 十勝平野から流出した寒気による Band 状の雲
205. 後町幸雄(京大・防災研): 山岳降雨のモデル(終)

206. 榊原 均・今井博子(気研・予報): 雲の厚さ・雲頂温度と降水形成
207. 元木敏博(札幌管区・予報)・村松照男(気象庁・気象衛星): 北海道西海岸に大雪を降らせる雲列について
208. 二宮洗三(気研・予報): 豪雨の時間スケールからみた降水強度の地理的分布
209. 武田栄一・菊地勝弘(北大・理): 北海道における集中豪雨について
210. 平光 一(名古屋地台)・服部満夫(岐阜地台): 岐阜県の豪雨の降水特性
211. 井原仙三(長野地台): 長野県内の強雨について
212. 秋山孝子(気研・予報): 中間規模じょう乱の降雨の特徴
213. 早川誠而・坂上 務・元田雄四郎(九大・農): 大雨をもたらす対流雲の垂直構造と降水特性
214. 荒川正一(気象大)・中井公太(名古屋地台): 徐々に変化する場の中に生ずる集中帯について

## 第3会場 気候 座長 須田 滝 雄

301. 藤井盛澄(大阪電通大): 亜熱帯上層風の経度変化
302. 荒井 康(気象庁・長期予報): 500mb 高度の平年値について
303. 関原 疆, 池田 弘, 菊池直次郎(高層気象台): 最近の成層圏気温低下の傾向について
304. 山元龍三郎, 岩嶋樹也(京大・理)・星合 誠(愛知学院大): 火山大噴火に伴う下部対流圏の気温変化(第3報)
305. 三浦四郎(新潟地台): 大気オゾンの垂直分布と大気構造について
306. 力武恒雄(名古屋地台): 昭和50年夏期の天候と南アジア上層高気圧について
307. 大井正一(理大)・内山徳栄(気研・予報): 成層圏天気図の解析(28)二月のパターン
308. 須田滝雄: 対流圏中層気圧に対する太陽微粒子放射の影響
309. 河村 武(気研・応用): 北海道における地上風系の総観気候解析
310. 樋口敬二(名大・水研): ヒマラヤにおける“夜の

雪”と氷河の涵養

311. 蔵重 清(気研・台風)：台風の気圧分布式

## 大会第1日(10月21日) 13時30分～17時30分

## 第1会場 境界層 座長 蒲生 稔

114. 山本 晋・蒲生 稔・横山長之(公資研)：飛行機による乱流の測定—その4—(海上および海岸地帯上空における熱輸送量の測定)
115. 水野建樹(公資研)：接地境界層の乱流構造とコヒーレンス その1
116. 蒲生 稔・横山長之(公資研)：平坦地形上での大気境界層の構造(その2)
117. 藤田敏夫・魚津 博・本多庸浩(気研)：接地逆転層における Profile と Flux の関係
118. 花房龍男・藤谷徳之助(気研・物理)：2高度における乱流輸送量の観測(序報)
119. 大塚 伸・本多庸浩(気研)：接地逆転層の構造
120. 蒲生 稔・横山長之, 山本 晋(公資研)：逆転層の日変化観測(その3)
121. 荒川正一(気象大)・菊池幸雄(気象庁・電計)・白崎航一(気象大)・長野美文(気象庁・電計)：南関東海陸風の数値シミュレーション(第2報)
122. 大河内康正(九大・理)：海陸風に及ぼす山岳の効果について
123. 北林興二(公資研)：海陸風の統計解析(Ⅲ)
124. 林 正康(公資研)：風の数日程度の周期の統計的解析(Ⅱ)
125. 柳沢善次・神林慶子(気研・台風)・桜岡 勉(仙台管区)：海風前線に伴う線状エコーについて
126. 江口恒夫(榊ケー・シー・エス)・木村竜治(東大・海洋研)：海風前線の侵入速度に関する統計解析
127. 阿部信男・楠田 信(大分高専)：別府湾の海陸風(I 大分市の海陸風)

## 第2会場 総観気象 座長 鈴木 秀夫

215. 橋場善也・武井久徳・宮崎甲介(名古屋航測)：低層のウインドシヤーについて(第1報)
216. 前田伊三男(名古屋航測)：名古屋空港における視程の予想について
217. 船津康二(長野地台)・三枝 茂・八尾 孝(銚子地台)：暖候期における霧の予報法—千葉県東部沿岸地方

218. 佐藤正夫(富山地台)：富山県における降雪量予想について
219. 大井正一(理大)：山雲の機構(21) 滝雲
220. 杉浦信夫(甲府地台)：富士山周辺における雨量と山岳気流—昭和49年9月1日の解析例について
221. 青木 孝(気象庁・予報)：関東地方の局地的悪天候の解析
222. 田中政由(熊谷地台)：関東地方の下層大気のメソ解析
223. 布目 勇(横浜地台)：相模湾低気圧について—付駿河湾低気圧と房総前線—
224. 畑山源二(前橋地台)：土佐沖低気圧の温度移流の立体構造について
225. 小沢 正・内山良子(気研・予報)：土佐沖低気圧の総観的機構について(Ⅱ)
226. 宮本正明(日本気象協会・関西)：海面更正気圧で民生用天気図解析可能上の問題点
227. 青木 孝・野本真一(気象庁・予報)：PC 法による台風の進路予報
228. 大西外史(防衛大)：線型予測による 500mb 面の予想天気図
229. 天野 充(静岡地台)：駿河湾の波浪—石花海および榛南海岸の波浪—
230. 藤原滋水(気研・台風)：山中湖の水位予測

## 第3会場 エーロゾル 座長 池 辺 幸 正

312. 中谷 茂(電総研)・角田智良(東理大・理)：サブミクロンエーロゾルの粒径分布測定器の試作
313. 角田智良(東理大・理)・中谷 茂(電総研)：エーロゾル数濃度の連続的計測
314. 石坂 隆・磯野謙治(名大・水圏研)：日本近辺の対流圏大気中のエーロゾルの物質について—特に土壌粒子, 海塩粒子, 硫酸塩粒子に着目して—
315. 石川晴治・森田恭弘・高木増美(名大・空電研)：大気イオンとエーロゾルの垂直分布
316. 北川信一郎・舟木数樹(埼玉大・工)・池上三和子・金沢五寿雄・三崎方郎(気研)・中谷 茂(電総研)・角田智良・増田純夫・望月 定(東理大・理)・首藤克彦(東理大・理工)：サブミクロンエ

- ーロゾルのメソスケール分布と変動の研究(第1報)
317. 森田恭弘・岩田 晃・高木増美・石川晴治(名大・空電研):三河湾佐久島におけるイオン・エーロゾルの諸特性
318. 小野 晃(気研・物理):南鳥島におけるサブミクロンエーロゾル粒子の性状について
319. 池上宏一・樋口敬二(名大・水圏研):ヒマラヤにおけるエーロゾルの観測
320. 岡田菊夫・石坂 隆・増沢敏行・磯野謙治(名大・水圏研):尾鷲における大気中のガス状塩素濃度とエーロゾルの化学成分について
321. 岩坂泰信(名大・水圏研): $\text{SO}_2$ 酸化反応と $\text{H}_2\text{SO}_4$ 水和反応
322. 下 道国(名大・工):実効付着係数とエーロゾル帯電率の計算
323. 児島 紘(東理大):荷電率測定によるイオンのエーロゾルへの附着理論の検証
324. 三宅泰雄(地球化学研究協会)・葛城幸雄(気研・地球化学):中国水爆実験による成層圏降下物の滞留時間について

## 大会第2日(10月22日)9時~12時30分

### 第1会場 境界層・AMTEX 座長 近藤 統正

128. 小林俊一(北大・低温研):積雪期の盆地における接地気層の乱流
129. 木村竜治・三沢信彦(東大・海洋研)・坂上治郎・国井利泰(東大・理):ヒートアイランドに伴う対流の実験(第4報,補足)
130. 石川信敬(北大・低温研):冬期の盆地における夜間放射冷却時の熱収支(Ⅱ)
131. 沢井哲滋(東大・理):都市気塊と局地循環の生成
132. 林 正康・横山長之(公害研)・小堀泰宏(海上電気)・岩方 浩(東海大):音波レーダによる大気境界層の観測1.装置とデータ処理法について
133. 赤井幸夫・千秋鋭夫(電子中研):音波レーダによる逆転層観測
134. 福島 円・秋田錦一郎・田中 浩・増田悦久(電波研):ソーダ観測による逆転層乱流の微細構造
135. 水間満郎(京大・原子炉):AMTEX '75多良間島におけるパイボール観測(Ⅱ)
136. 二宮洗三(気研・予報):黒潮海域で変質する寒気の混合層の風速分布と運動エネルギー収支
137. 近藤純正(東北大・理):冬の東支那海熱収支(AMTEX 解析その1の完結報)
138. 斎藤直輔(気研・予報):AMTEX '75の中間規模低気圧(1)総観解析
139. 斎藤直輔(気研・予報):AMTEX '75の中間規模低気圧(2)熱力学的解析
140. 吉住禎夫(気研・予報):寒気吹出し時の東支那海による気団変質の数値実験
141. L. Krishna Murty・岸保勲三郎(東大・理):

### Heat and Moisture Budgets over AMTEX Area During AMTEX '75.

### 第2会場 レーダ 座長 立平良三

231. 青柳二郎・小平信彦(気研・衛星):移動目標物表示(MTI)気象レーダシステムについて
232. 青柳二郎(気研・衛星):レーダ雲頂高度測定精度
233. 磯野謙治・武田喬男・和田 誠・藤吉康志(名大・水圏研):新 RHI-radar による降水雲の観測
234. 立平良三(気象庁・予報)・清水紀雄(日本無線):地形エコーと重なった降水エコーの強度測定
235. 浅井富雄・吉崎正憲・石川浩治(東大・海洋研):対流性レーダエコーの移動の客観解析法(2)
236. 小元敬男(防災センター):降ひょう分布のスケールによる分類
237. 清野 裕・小元敬男・八木鶴平・米谷恒春(防災センター):雷雨エコーと雨量分布・降ひょう分布の関係
238. 八木鶴平(防災センター):ひょうを伴った線状雷雨エコーの解析
239. 和田 誠(名大・水圏研):雷雲周辺のエコーの特性について
240. 里見 穂(気象庁・総務)・田沢秀隆(東京管区):東京レーダで見た関東平野へ侵入する雷雨エコー
241. 深津 林・森野行男(福井地台):レーダで観測される収束雲と北陸不連続線
242. 村木彦磨(金沢地台):本州を通過する寒冷前線に伴う合成エコーパターンの振舞いについて

243. 武田喬男・和田 誠・藤吉康志(名大・水圏研) :  
梅雨前線周辺の降水システムのレーダ観測

**第3会場 放射 座長 浅野 正二**

325. 青木忠生(東北大・理) :  $H_2O$  遠赤外吸収特性の  
解析  
326. 浅野正二・中島映至(東北大・理) : 放射伝達にお  
いて, Phase Function の Truncation 及び積分  
精度のフラックスにおよぼす誤差について  
327. 中川清隆(筑波大・地球科学・大学院) : 完全快晴  
時における大気放射の実験公式について  
328. 吉田作松・篠木誓一(日本気象協会・研) : 日本に  
おける月平均全日射量およびその変動度の分布  
図作成  
329. 三田昭吉(名大・理・大学院・水圏研) : 近赤外域

におけるエアロゾルの作用—特に吸湿性エアロゾ  
ルの場合—

330. 板部敏和・藤原 玄夫・広野求和(九大・理) : Li-  
dar 後方散乱と太陽光減衰係数の比較による成層  
圏エアロゾル層の粒径分布について  
331. 板部敏和・広野求和・藤原玄夫(九大・理) : 成層  
圏エアロゾル層の Fuego 火山噴火後の変動—福  
岡におけるライダー観測結果とその考察  
332. 岩坂泰信・三田昭吉・磯野謙治(名大・水圏研) :  
2 波長方式レーザーレーダによる成層圏エアロゾル  
探査(II)  
333. 関原 彊・鈴木彌幸・穂田 巖・柳橋 度・鈴木  
剛彦(高層気象台) : 係留気球によるオゾン観測に  
ついて

**大会第3日(10月23日) 9時~12時30分**

**第1会場 災害・その他 座長 奥田 穰**

142. 立原庸知・石川澄雄(宇都宮地台)・石井俊幸(大  
島測) : 栃木県下の干ばつ(宇都宮の水収支との  
関係)  
143. 樋口敬二・前 晋爾・伏見硯二・池上宏一(名大  
・水圏研) : 昭和51年豪雪(新潟)調査  
144. 奥田 穰(気研・台風) : 1975年8月17日台風05号  
による高知県下の崩壊災害と降雨強度との関係に  
ついて  
145. 高居貴美・山中芳樹・神山恵三(東京農工大・環  
境保護) 樹木より発散される炭化水素系物質につ  
いて  
146. 山田幹夫(香川県立高松高校) : 大気の大循環の中  
の日本の気象の指導について—気象衛星雲写真の  
利用—  
147. 志賀正信(福岡管区)・真鍋大覚・佐藤洋子(九  
大) : 圏界面の波動と震生虹の伝播  
148. 志賀正信(福岡管区)・真鍋大覚・佐藤洋子(九  
州大) : 薩摩出水の鶴の帰去来と気温の極日

**大気汚染 座長 河村 武**

149. 伏見克彦・川村 清・杉村行勇(気研)・三宅泰  
雄(地球化学研究協会) : 北太平洋西部 および東  
部インド洋の海上大気中の  $CO$  およびアルデヒド  
含量

150. 川村 清・伏見克彦(気研・化学) : 大気中の  $SO_2$ ,  
 $NO_2$ ,  $NH_3$  とエアロゾル化した  $SO_4^{2-}$ ,  $NO_3^-$ ,  
 $NH_4^+$  の濃度比について  
151. 竹内丑雄(成蹊高校) : 降水中の化学成分の発生源  
について  
152. 竹内丑雄(成蹊高校)・安藤 三郎(慶応大・工)  
: 降水中の化学成分と大気汚染  
153. 孫野長治・長利富勝(北大・理) : 降雨によるエー  
ロゾルの除去作用の観測  
154. 今野真悦・足立 崇(気象庁・予報)・山本 晃・  
多田一正(札幌管区) : 札幌・苫小牧における硫酸  
酸化物濃度と気圧配置  
155. 園部美尚(名古屋地台) : 光化学オキシダント(四  
日市)の気象特性と予想

**第2会場 大循環・力学 座長 時岡 達志**

244. 吉住禎夫(気研・予報) : 風の回転成分の客観解析  
の一試み  
245. 谷貝 勇(仙台管区) : リーマン幾何学を用いた P  
座標系の考察  
246. 大西晴夫(気象庁・電計) : 台風の数値予報— $\rho \sim \sigma$   
座標系について  
247. 時岡達志(気研・予報) : 垂直方向の差分法に関す  
る考察  
248. 岡村 存(気研・予報) : 地形の計算スキームのテ

スト結果について

249. 増田善信(気象庁・電計): 階段状の山の周りの大規模な流れの場について
250. 中村 一(東大・理): 大気大循環モデル—大山岳に西風があたる場合の差分誤差
251. 森山 茂(日大・生産工)・岩嶋樹也・山元龍三郎(京大・理): 火星の大気大循環スペクトルモデル(I)
252. 時岡達志(気研・予報): 準地衡風乱流論に基づく Subgridscale Mixing のパラメタリゼーション
253. 岸保勘三郎(東大・理): いわゆる気候モデル (zonally averaged model) に用いられる Austausch coefficient について
254. 宇加治一雄・玉木克美(福岡大・理): 内部加熱による回転流体の運動(3)
255. 相原正彦(気象大)・今井博子(気研・予報): 球面地球上のプラネタリー波の安定度
256. 中村健治(東大・理): 波による平均場の加速について
257. 松野太郎(東大・理): プラネタリー波の東風加速効果による冬季中間圏東西風の変化
258. 松野太郎(東大・理): 成層圏中でのプラネタリー波による物質の輸送について
259. 川平浩二(京大・理): 非断熱過程におけるプラネタリー波のエネルギー輸送
260. 宮原三郎(九大・理): 大気太陰潮汐振動の季節変動の原因について

### 第3会場 雲物理 座長 前野 紀 一

334. 佐粧純男(気研・物理): 雪粒子の落下姿勢について
335. 山下 晃(東大・理): 雪の結晶の成長機構(実験

及び考察のまとめ)

336. 古川義純(北大・低温研): 雪結晶の中の双晶とwhisker
337. 小林楨作(北大・低温研): 雪結晶の双晶構造—cubic 構造モデル
338. 岩井邦中(信州大・教育): 板状雪結晶の3次元的構造
339. 前野紀一・荒岡邦明(北大・低温研): 氷粒子の衝突現象
340. 上田 博・菊地勝弘(北大・理): 凍結水滴の結晶主軸の方向性について(単結晶氷で凍結させた場合II)
341. 岩渕武士・孫野長治(北大・理): 微水滴の凍結荷電に及ぼす不純物効果について
342. 成瀬 弘(気研・応用): 雲粒に含まれる吸湿核の特性について
343. 池上宏一・樋口敬二(名大・水圏研): 昭和51年豪雪(新潟)時の積雪中の塩素量について

### 大気電気 座長 石川 晴 治

344. 菊地勝弘・遠藤辰雄(北大・理)・梶川正弘(秋田大・教育)・福津和雄(日本電子科学会): 降雪電荷と大気電場間の鏡像関係に関する実験観測(その1)
345. 菊地勝弘・遠藤辰雄・上田 博・宮沢順成(北大・理)・梶川正弘(秋田大・教育): 降雪電荷と大気電場間の鏡像関係に関する実験観測(その2)
346. 児島 紘(東理大): 大粒子の電荷分布測定
347. 竹内利雄・仲野 實(名大・空電研): 冬に観測された特異な落雷の性質
348. 小沢 博(千葉大・養): 雷雲の理論的研究

## 大会第3日(10月23日) 13時30分~17時

### 第1会場 大気汚染 座長 内 藤 恵 吉

156. 安達隆史・大田正次(日本気象協会・研): 微風のパターン分類と変動量の特長(微風構造の研究I)
157. 川上美代子(日本気象協会)・花房龍男(気研・物理): 風向変動幅の sampling duration について(微風構造の研究II)
158. 千葉 修(高知大・文理)・安達隆史(日本気象協

会): 高知での弱風観測(微風構造の研究III)

159. 筑紫文夫・大田正次(日本気象協会・研): 風速のスカラ平均とベクトル平均(微風構造の研究IV)
160. 坂上治郎(元お茶大・理)・川上美代子(日本気象協会): 鉛直上方に制限がある場合の拡散—風洞実験
161. 石崎健二(北大・工): 煙軸高度の調和解析
162. 竹田 厚・三沢信彦・石川浩治(東大・海洋研)



- ・鶴田 治雄・前田 裕行（横浜市・公害研）・鈴木英世（川崎市・公害研）・遠藤辰雄・長利富勝（北大・理）：相模湾上の大気汚染物質の輸送過程に関する観測
163. 内藤恵吉・高橋克己・田端 功・横田良夫（気研・衛星）：ライダーによる大気拡散解析（続）
164. 岡本真一・塩沢清茂（早大・理工）：拡散モデルによる大気汚染シミュレーション（第7報）
165. 広尾 純・塩沢清茂（早大・理工）：拡散モデルによる大気汚染シミュレーション（第8報）—主軸が曲率をもつブルーム・モデル—
166. 大西外史（防衛大）：定常状態の拡散モデル
167. 岡本真一・谷畑淳司・塩沢清茂（早大・理工）：拡散実験データの解析（第1報）—濃度の鉛直分布について—
168. 鳥貫 陸（東京学芸大）・板宮憲一（日科技研）・山崎 博（東京都公害局）：相互相関によるオキシダント濃度の地域構造解析
266. 中沢哲夫・岸保勘三郎（東大・理）：積雲対流の熱放出によって発達する擾乱の数値実験
267. 吉崎正憲（東大・海洋研）：雲底が高い積雲の数値実験（1）
268. 吉崎正憲（東大・海洋研）：雲底が高い積雲の数値実験（2）
- 第3会場 測器・データ処理 座長 青柳二郎**
349. 藤原美幸・柳沢善次・柳瀬利子・神林慶子（気研・台風）青柳二郎・吉留英二（気研・衛星）：降水塊のマイクロウェーブ通信に及ぼす減衰特性（中間報告）
350. 落合弘明（鳥羽商船高専）・土屋 清（宇宙開発事業団）：LANDSAT-MSS データによるデジタル解析について
351. 吉留英二・青柳二郎（気研・衛星）：オメガ高層風観測装置の改良（I）
352. 中村邦雄・山香英三（松下技研）・青木忠生（東北大・理）・関原 疆・鈴木彌幸（高層気象台）：地上設置形気温垂直分布測定装置について（II）
353. 渡辺清光（日本気象協会）：観測の自動化と周辺機器の1例について（微風構造の研究V）
354. 菊池武徳（水戸地台）：測器の変更などに伴う風速の変化と最大瞬間風速の代表性について
355. 西宮 昌・小林博和（電力中研）：煙突利用による風向風速の測定誤差
356. 高橋延男（気研・衛星）：吹込み型小型垂直風洞の試作
357. 木村忠志（防災セ・雪害研）・福島 茂・佐藤家郷（明星電気）：R-2 型積雪の深さ計

**第2会場 熱帯気象・積雲 座長 和田美鈴**

261. 丸山健人・常岡好枝（気研・学報）：アジア南西モンスーン時の圏界面
262. 丸山健人・常岡好枝・飯田陸治郎（気研・予報）：アジア南西モンスーン時におけるじょう乱の解析（第4報）
263. 伊藤久徳（京大・理）：積雲対流との弱い相互作用を持つ赤道波
264. 松野一郎・新野 宏（東大・理）：乱流ブルームに及ぼす回転の効果
265. 和田美鈴（気研・台風）：パラメタライズした積雲対流によって生ずる大規模擾乱

（p. 529 のつづき）

島大学 ○宇都宮英彦・橋本孝夫・安田幸登

31. 橋梁基本断面のガス不規則振動について 京都大学 白石成人・松本勝・岡南博夫・丸山 俊・森野純孝

17:20~17:30 閉会の辞